



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月14日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,305	1.6	53		36		64	
2019年3月期第2四半期	4,237	0.5	6	77.7	27	42.6	10	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.05	
2019年3月期第2四半期	1.28	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,744	2,806	59.2
2019年3月期	5,148	2,911	56.6

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 2,806百万円 2019年3月期 2,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	8.3	150	108.3	180	55.7	83	58.9	10.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,550,400 株	2019年3月期	8,550,400 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	521,998 株	2019年3月期	521,998 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,028,402 株	2019年3月期2Q	8,028,482 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. 補足情報	6
[参考] 業態別出退店の状況	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、通商問題を巡る緊張が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、消費税増税後の消費の落ち込み懸念等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、長引く人手不足による人件費や物流費の上昇、食材価格の高騰のほか、消費者の根強い節約志向に加え、中食市場の拡大などを背景に他業種との企業間競争の激化が継続する中、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「真心第一でお客様にご来店いただく」を年度スローガンに制定し、具体的な真心の行動として、日本一お見送りを大切にす飲食店を目指してまいりました。また、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をはかる施策として、「既存店の向上」では「ハッケン酒場」を中心とした業態変更を推進すべく、「ハッケン酒場」3店舗、「餃子食堂マルケン」3店舗、「焼そばセンター」2店舗、「GOTTO酒場」1店舗、合計9店舗の業態変更と「八剣伝」から「ハッケン酒場」へのコンセプト・リニューアル改装7店舗、既存店のリフレッシュ改装3店舗、合計10店舗の改装を実施いたしました。

「新規出店」では、第4の柱となる業態に育成すべく、「ハッケン酒場」3店舗、「焼そばセンター」1店舗、「餃子食堂マルケン」1店舗、合計5店舗の新規出店をいたしました。「FC事業強化」では、新規出店2店舗と「八剣伝」から「ハッケン酒場」へのコンセプト・リニューアル改装4店舗を行い、FC店舗の拡大拡充に努めました。

このような取り組みを行った結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高は4,305,705千円（前年同期比1.6%増）、営業損失は53,112千円（前年同期は営業利益6,652千円）、経常損失は36,467千円（前年同期は経常利益27,587千円）、四半期純損失は64,622千円（前年同期は四半期純利益10,247千円）となりました。

【当第2四半期の業績の概況】

	前第2四半期 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	当第2四半期 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	4,237	4,305	67	1.6
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	6	△53	△59	-
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	27	△36	△64	-
四半期純利益又は四半期純損失 (△) (百万円)	10	△64	△74	-
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 (△)	1円28銭	△8円05銭	△9円33銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2019年3月期末	当第2四半期末	増減
資 産	5,148	4,744	△404
負 債	2,236	1,937	△299
純 資 産	2,911	2,806	△105
自己資本比率 (%)	56.6	59.2	2.6

当第2四半期会計期間におきましては、有形固定資産の取得による支出や配当金の支払いによる現金及び預金508,762千円の減少、新規出店による固定資産137,324千円の増加等により、総資産が前事業年度末に比べ404,244千円減少し、4,744,246千円となりました。

負債は、前事業年度期末日が休日の影響等により買掛金が242,207千円の減少し、前事業年度末に比べ299,126千円減少し、1,937,365千円となりました。

純資産は、配当金の支払いや四半期純損失の計上により105,118千円減少し、2,806,881千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,269,093	1,760,331
売掛金	423,123	351,072
商品及び製品	13,628	17,186
原材料及び貯蔵品	36,925	38,738
その他	141,250	175,123
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	2,884,000	2,342,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	967,174	1,066,186
土地	198,805	198,805
その他(純額)	111,977	108,280
有形固定資産合計	1,277,956	1,373,272
無形固定資産		
	87,986	123,214
投資その他の資産		
差入保証金	851,711	846,392
その他	71,518	85,684
貸倒引当金	△24,683	△26,749
投資その他の資産合計	898,546	905,328
固定資産合計	2,264,490	2,401,814
資産合計	5,148,491	4,744,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	770,113	527,906
賞与引当金	69,007	71,825
株主優待引当金	30,059	33,582
その他	695,179	616,517
流動負債合計	1,564,360	1,249,831
固定負債		
資産除去債務	195,164	206,503
その他	476,966	481,030
固定負債合計	672,130	687,533
負債合計	2,236,491	1,937,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	1,510,530
資本剰余金	1,619,390	1,619,390
利益剰余金	231,910	127,146
自己株式	△453,319	△453,319
株主資本合計	2,908,511	2,803,746
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,488	3,134
評価・換算差額等合計	3,488	3,134
純資産合計	2,911,999	2,806,881
負債純資産合計	5,148,491	4,744,246

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,237,932	4,305,705
売上原価	1,709,980	1,670,310
売上総利益	2,527,951	2,635,394
販売費及び一般管理費	2,521,298	2,688,506
営業利益又は営業損失(△)	6,652	△53,112
営業外収益		
受取利息	837	518
受取配当金	235	248
受取家賃	9,383	9,410
解約返戻金	3,010	631
その他	7,966	6,681
営業外収益合計	21,431	17,492
営業外費用		
その他	497	847
営業外費用合計	497	847
経常利益又は経常損失(△)	27,587	△36,467
特別利益		
固定資産売却益	231	4,096
受取補償金	5,760	-
特別利益合計	5,991	4,096
特別損失		
固定資産除却損	1,033	495
固定資産売却損	0	-
減損損失	-	5,887
賃貸借契約解約損	-	3,204
特別損失合計	1,033	9,586
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	32,545	△41,958
法人税等	22,297	22,664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,247	△64,622

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

[参考]業態別出退店の状況

		前事業年度					当第2四半期				
		自 2018年4月1日					自 2019年4月1日				
		至 2019年3月31日					至 2019年9月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔 虎 伝	16	2	1	17	1	17	1	2	16	△1
	八 剣 伝	66	7	5	68	2	68	6	4	70	2
	居 心 伝	28	-	1	27	△1	27	-	2	25	△2
	串 ま ん	2	-	1	1	△1	1	-	-	1	-
	八 右 衛 門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	2	6	-	8	6	8	4	-	12	4
	マルケン	1	2	-	3	2	3	5	-	8	5
	そ の 他	11	1	5	7	△4	7	2	2	7	-
小 計	130	18	13	135	5	135	18	10	143	8	
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	20	-	1	19	△1	19	-	2	17	△2
	八 剣 伝	279	4	19	264	△15	264	2	5	261	△3
	居 心 伝	17	-	4	13	△4	13	-	-	13	-
	そ の 他	17	1	2	16	△1	16	1	3	14	△2
小 計	333	5	26	312	△21	312	3	10	305	△7	
合 計	463	23	39	447	△16	447	21	20	448	1	

※前事業年度まで、焼そばセンターとマルケンは新しい試みとしてその他に含めておりましたが、一定の成果が確認でき、店舗数も増えたため、当事業年度より個別表記しております。

また、上記変更に伴い、海心丸とバルビダにつきましては、当事業年度よりその他に含めております。